



平成27年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年5月13日

上場会社名 株式会社CEホールディングス 上場取引所 東 札
 コード番号 4320 URL http://www.ce-hd.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 惠昭
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理担当 (氏名) 松澤 好隆 TEL 011(861)1600
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第2四半期の連結業績（平成26年10月1日～平成27年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第2四半期	3,893	△22.8	137	△82.6	156	△80.8	33	△92.9
26年9月期第2四半期	5,046	22.5	790	62.5	813	55.0	475	42.3

(注) 包括利益 27年9月期第2四半期 37百万円 (△92.1%) 26年9月期第2四半期 467百万円 (39.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第2四半期	9.49	9.06
26年9月期第2四半期	133.49	127.45

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第2四半期	5,985	3,799	61.1
26年9月期	5,450	3,723	67.9

(参考) 自己資本 27年9月期第2四半期 3,654百万円 26年9月期 3,701百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	20.00	20.00
27年9月期	—	0.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注) 26年9月期期末配当の内訳 普通配当 15円00銭 東京証券取引所市場第一部指定記念配当 5円00銭

3. 平成27年9月期の連結業績予想（平成26年10月1日～平成27年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,273	10.1	781	7.9	792	3.6	454	2.0	127.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー 社、除外 ー 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年9月期2Q	3,703,700株	26年9月期	3,703,700株
② 期末自己株式数	27年9月期2Q	140,064株	26年9月期	140,064株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年9月期2Q	3,563,636株	26年9月期2Q	3,563,636株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業業績に改善がみられるなど、緩やかな回復基調が続いているものの、消費税増税の影響や、海外景気の下振れ懸念など、依然として先行きは不透明な状態が続いております。

ソフトウェア業界におきましては、ソフトウェア投資は緩やかに増加しており、全体としては底堅く推移しております。

当社グループが事業を展開しております医療情報システム業界におきましては、平成26年度診療報酬改定率が全体で+0.1%となるものの、消費税率引き上げに伴う医療機関のコスト増補填分を除いた実質ではマイナス改定となり、医師や看護師の不足・偏在化が続くなど、医療機関を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。一方、医療・介護の総合的な確保のための事業を支援するため、医療介護総合確保推進法に基づき、各都道府県に「地域医療介護総合確保基金」（医療分：904億円、介護分：724億円）が設置され、ICTを活用した医療情報連携ネットワーク事業等、ICTの活用が期待される事業計画も出ております。また、医療の質向上や効率化に寄与する統合系医療情報システムの普及が進む中、今後も医療ICT関連事業の推進、とりわけ電子カルテシステムや地域医療連携システムの普及推進が期待されております。

このような状況の中、当社は看護支援システム「ナース物語シリーズ」を開発するマルマンコンピュータサービス㈱と資本業務提携契約を締結し、平成27年3月3日に同子会社である㈱エムシーエスを当社連結子会社である合併会社としております。

当社グループの主力事業である電子カルテシステム事業におきましては、地域における医療課題の解決を図るため、平成21年度から平成24年度補正予算によって各都道府県に設置された「地域医療再生基金」対象事業の計画期間が、平成26年3月末をもって概ね終了したことや、消費税率の引き上げ等から、医療機関においては、医療情報システムへの投資に対し一時的に動向を見守る状況となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高3,893百万円（前年同期比22.8%減）となりました。利益面におきましては、売上高の減少に伴い、売上総利益632百万円（前年同期比48.8%減）、営業利益137百万円（前年同期比82.6%減）、経常利益156百万円（前年同期比80.8%減）、四半期純利益は33百万円（前年同期比92.9%減）となりました。また、受注状況につきましては、受注高3,018百万円（前年同期比27.5%減）、受注残高2,119百万円（前年同期比15.7%増）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

[電子カルテシステム事業]

電子カルテシステム事業は、「MI・RA・Is（ミライズ）ユーザーフォーラム[1]」の活動等を通じてユーザーニーズの把握に努め、製品の機能強化に取り組むとともに、品質マネジメントシステムの構築を継続的に推進し、顧客満足度の向上並びに製品・サービスの品質確保を図ってまいりました。主力の電子カルテシステム「MI・RA・Is/PX」などの医療情報システムの販売が堅調に推移いたしました。健康・医療ソリューション「HealthClover（ヘルスクローバー）[2]」につきましては、医療現場のニーズに応えるべく、さらなる機能拡張やサービス充実を図り、「電子カルテ/地域医療連携ソリューション」とともに、政府諸施策を見据えながら販売活動に取り組んでまいりました。また、医療情報システムの受託開発につきましては、地域中核病院を中心に継続的に日本電気㈱から受注し開発・導入作業を行ってまいりました。

当社グループの大半を占める電子カルテシステム事業の業績につきましては、前記の状況により、受注高2,996百万円（前年同期比27.8%減）、受注残高2,119百万円（前年同期比15.7%増）、売上高3,865百万円（前年同期比22.8%減）、セグメント利益201百万円（前年同期比77.1%減）となりました。

[その他]

その他におきましては、全世代に発信するヘルスケア関連情報サイト「Mocosuku（もこすく）[3]」のサービス領域拡大を図るとともに、ユーザーニーズを捉えた記事を配信し、記事内容にマッチした誘導リンクを配置することにより、アクセス数の増加、ひいてはサイト価値の向上につなげるべく取り組んでまいりました。また、高齢者向け安否/安心連絡システム「安タッチ（あんタッチ）[4]」を中心に、高齢者向け医療・健康関連システムの提供を推進してまいりました。

その他の業績につきましては、受注高21百万円（前年同期比100.3%増）、受注残高なし（前年同期受注残高なし）、配置薬事業から撤退したことにより売上高27百万円（前年同期比27.3%減）、セグメント損失39百万円（前年同期セグメント損失85百万円）となりました。

- [1]MI・RA・I sユーザーフォーラム ㈱シーエスアイの電子カルテシステム「MI・RA・I sシリーズ」のユーザーが主体となって運営している情報交換の場であり、より使いやすく、充実したシステムへと発展することを旨とし、研究会や見学会などの活動を定期的に行っている。
- [2]Health Clover (ヘルスクローバー) 医療機関から患者やその家族の携帯電話・スマートフォンに、各種案内や健康コンテンツ等の提供を行うサービス。患者は診療予約や処方履歴・検査結果の参照等ができる。また、診療所から病院のMRIやCTなどの設備を予約することも可能である。
- [3]Moccosuku (もこすく) ヘルスケア関連情報サイト。病院検索や健診案内等、「(Mo) もっと (co) 幸福に (su) 健やかに (ku) 暮らす」ことを望む全ての人に、役立つ情報を提供している。
- [4]安タッチ(あんタッチ) 高齢者向け安否連絡システム。高齢者がiPadの画面ボタンをタッチするだけで、離れて暮らす家族等へ、安否情報(日々の見守り情報)や健康状態などをメールで連絡することができる。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は5,985百万円となり、前連結会計年度末に比べ535百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が151百万円、仕掛品が275百万円等減少したものの、受取手形及び売掛金が1,082百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は2,186百万円となり、前連結会計年度末に比べ459百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が550百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は3,799百万円となり、前連結会計年度末に比べ76百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が剰余金の配当により71百万円減少したものの、四半期純利益33百万円の計上及び少数株主持分の増加122百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

わが国経済の今後の見通しに関しましては、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、原油価格下落の影響や各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されております。

当社グループはこのような環境の中、電子カルテシステム事業におきまして、品質向上・顧客満足度向上のため、品質マネジメントシステムのさらなる推進を図るとともに、「MI・RA・I sユーザーフォーラム」を通じたユーザーニーズの把握や、現場医師からの意見・監修等により、主力製品である「MI・RA・I s/PX」を中心に継続的な機能強化を行ってまいります。

販売面におきましては、新規及びシステム更新案件の開拓、並びに地域医療介護総合確保基金に関する事業への販売活動を、販売提携先との情報交換や同行営業の強化、各営業拠点の増員により、積極的に取り組んでまいります。

その他におきましては、ヘルスケア関連情報サイト「Moccosuku」のサービス領域拡大とサイト価値の向上に取り組むほか、「安タッチ」など的高齢者向け医療・健康関連システムの拡販に努めてまいります。当社グループは、ICTを活用したコンシューマ向けヘルスケア関連サービスを新たな柱とすべく、今後も業務提携等を通じた当該サービス拡大への取り組みを積極的に推進してまいりたいと考えております。

以上により、平成27年9月期の連結通期業績見通しにつきましては、平成26年11月10日発表の「平成26年9月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第2四半期連結累計期間において、新たに株式を取得した㈱エムシーエスを連結の範囲に含めております。

また、みなし取得日を当第2四半期連結会計期間末としているため、当第2四半期連結累計期間においては貸借対照表のみを連結しており、四半連結損益計算書には被取得企業の業績は含まれておりません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,479,872	1,328,167
受取手形及び売掛金	705,886	1,788,046
商品及び製品	1,548	1,683
仕掛品	733,475	457,579
原材料及び貯蔵品	1,237	773
その他	243,876	160,969
貸倒引当金	△1,125	△1,651
流動資産合計	3,164,773	3,735,570
固定資産		
有形固定資産	398,019	380,679
無形固定資産		
のれん	—	13,209
その他	81,445	96,248
無形固定資産合計	81,445	109,457
投資その他の資産		
関係会社株式	1,143,142	1,075,159
その他	663,428	685,207
貸倒引当金	△440	△440
投資その他の資産合計	1,806,130	1,759,927
固定資産合計	2,285,595	2,250,064
資産合計	5,450,369	5,985,634
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	611,499	1,162,040
1年内返済予定の長期借入金	191,932	178,770
未払法人税等	218,983	123,556
賞与引当金	60,164	71,582
その他	271,226	210,778
流動負債合計	1,353,805	1,746,727
固定負債		
長期借入金	330,638	341,446
退職給付に係る負債	—	31,796
その他	42,692	66,245
固定負債合計	373,330	439,487
負債合計	1,727,135	2,186,215

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,136,590	1,136,590
資本剰余金	1,155,807	1,155,807
利益剰余金	1,473,610	1,425,732
自己株式	△76,008	△76,008
株主資本合計	3,690,000	3,642,122
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,449	12,575
その他の包括利益累計額合計	11,449	12,575
新株予約権	3,180	3,180
少数株主持分	18,603	141,541
純資産合計	3,723,233	3,799,419
負債純資産合計	5,450,369	5,985,634

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
売上高	5,046,324	3,893,400
売上原価	3,811,839	3,261,351
売上総利益	1,234,485	632,048
販売費及び一般管理費	444,432	494,771
営業利益	790,053	137,277
営業外収益		
受取利息	283	211
受取配当金	1,544	1,613
受取保険金	6,594	-
投資事業組合運用益	1,099	7,669
持分法による投資利益	13,887	4,046
その他	3,767	8,854
営業外収益合計	27,176	22,395
営業外費用		
支払利息	3,533	2,799
その他	18	847
営業外費用合計	3,551	3,647
経常利益	813,678	156,025
税金等調整前四半期純利益	813,678	156,025
法人税、住民税及び事業税	346,085	90,858
法人税等調整額	7,043	29,179
法人税等合計	353,128	120,038
少数株主損益調整前四半期純利益	460,549	35,987
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△15,146	2,182
四半期純利益	475,696	33,804
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△15,146	2,182
少数株主損益調整前四半期純利益	460,549	35,987
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,629	1,125
その他の包括利益合計	6,629	1,125
四半期包括利益	467,179	37,112
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	482,325	34,930
少数株主に係る四半期包括利益	△15,146	2,182

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	813,678	156,025
減価償却費	63,589	51,763
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9,747	△216
のれん償却額	-	7,387
受取利息及び受取配当金	△1,827	△1,824
支払利息	3,533	2,799
持分法による投資損益(△は益)	△13,887	△4,046
売上債権の増減額(△は増加)	△1,156,598	△772,243
たな卸資産の増減額(△は増加)	697,883	291,500
仕入債務の増減額(△は減少)	141,866	414,606
その他	22,338	△142,039
小計	560,827	3,712
利息及び配当金の受取額	18,683	18,689
利息の支払額	△3,666	△3,079
その他の収入	3,767	8,104
法人税等の還付額	-	103,695
法人税等の支払額	△228,595	△263,704
営業活動によるキャッシュ・フロー	351,016	△132,581
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△77,448	△6,150
無形固定資産の取得による支出	△21,759	△42,479
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	51,125
その他	△1,705	18,087
投資活動によるキャッシュ・フロー	△100,912	20,583
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	4,641	100,000
長期借入金の返済による支出	△118,354	△102,354
リース債務の返済による支出	△1,489	△1,454
少数株主からの払込みによる収入	-	15,000
配当金の支払額	△53,062	△71,013
財務活動によるキャッシュ・フロー	△168,264	△59,821
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	81,838	△171,820
現金及び現金同等物の期首残高	1,612,585	1,475,447
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	20,114
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,694,423	1,323,742

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 (注) 3
	電子カルテ システム 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	5,008,065	38,259	5,046,324	—	5,046,324
セグメント間の内部売上高又は振替高	108	75	183	△183	—
計	5,008,173	38,334	5,046,508	△183	5,046,324
セグメント利益又は損失(△)	879,680	△85,490	794,190	△4,136	790,053

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通信機器販売事業、配置薬事業、健康食品販売事業及びヘルスケア関連情報サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△4,136千円は、セグメント間取引消去59,235千円及び報告セグメントに帰属しない一般管理費△63,372千円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 (注) 3
	電子カルテ システム 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	3,865,602	27,797	3,893,400	—	3,893,400
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	6,350	6,350	△6,350	—
計	3,865,602	34,148	3,899,750	△6,350	3,893,400
セグメント利益又は損失(△)	201,754	△39,499	162,254	△24,976	137,277

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ヘルスケア関連情報サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△24,976千円は、セグメント間取引消去57,214千円及び報告セグメントに帰属しない一般管理費△74,803千円及びのれん償却額△7,387千円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)	前年同四半期比(%)
電子カルテシステム事業(千円)	2,949,569	97.4
その他(千円)	22,701	42.9
合計(千円)	2,972,270	96.4

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 生産実績は当期総製造費用で表示しております。
 3 セグメント間の取引については相殺消去しております。

② 受注状況

当第2四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
電子カルテシステム事業	2,996,479	72.2	2,119,133	115.7
その他	21,711	200.3	—	—
合計	3,018,190	72.5	2,119,133	115.7

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 セグメント間の取引については相殺消去しております。
 3 電子カルテシステム事業の受注残高には、㈱エムシーエスの受注残高が含まれております。

③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)	前年同四半期比(%)
電子カルテシステム事業(千円)	3,865,602	77.2
その他(千円)	27,797	72.7
合計(千円)	3,893,400	77.2

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 セグメント間の取引については相殺消去しております。
 3 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
日本電気㈱	757,593	15.0	282,531	7.3
地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院	867,783	17.2	44,152	1.1

本表の金額には、消費税等は含まれておりません。